

3. 社会教育関係団体編

西原町文化協会

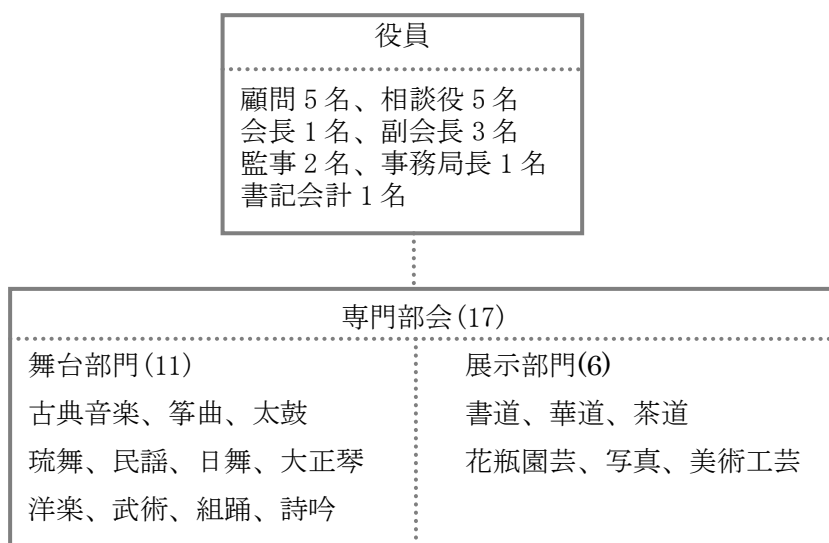
発足の経緯

西原町文化協会は、平成2年に結成し、会員数約400名でスタートしました。本会は、会員相互の連帯を密にし、広く町民の文化創造と振興に努めるとともに、すぐれた文化の普及発展に寄与し、西原町の文化向上をはかることを目的としています。

主な活動内容

- ・ 2年に1回、西原町文化祭を開催
日頃の活動の成果を舞台部門、展示部門に分けて広く町民をはじめ関係各位に公開することにより、芸術鑑賞の機会をつくり、町民・関係各位の芸術文化活動に対する意識の高揚並びに文化の創造・発展に寄与しています。
- ・ 結成10周年の記念事業では組踊「天使金丸」を上演
結成10周年を迎えるにあたっては、記念事業の一環として、西原町に縁の深い内間御鎖金丸(後の第二尚氏始祖・尚円王)をテーマにした戯曲を全国から公募し、その大賞に輝いた作品は、新作組踊に仕立て直しました。
これまでに宜野湾市民会館、西原町運動公園交流広場で上演致しました。
- ・ 現在、積極的に取り組んでいる事業
文化祭、展示会を伝統的に続けてきました。施設への慰問公演や、学校へ行って児童に対して書道の支援ボランティアもやっています。

組織図



活動の様子



組踊「天使金丸」を宜野湾市民会館で上演



組踊「天使金丸」DVD



第17回 西原まつり



期日：平成25年2月8日 於：西原町民体育館

西原町文化祭(展示部門)



舞部門・古典合唱で幕開け 期日：平成25年2月16日 於：西原町公民館

西原町文化祭(舞台部門)



全体研修会
(沖永良部、与論島交流研修)

西原町体育協会

発足の経緯

昭和 28 年に発足し、終戦直後の衣食住にも事欠く混沌とした社会情勢の最中、スポーツをとおして、明るい西原町（当時は西原村）の復興を願い設立された。

目的

本協会は、西原町の体育・スポーツを振興し、町民の体力の向上とスポーツ精神の高揚をはかり、各種競技をとおしてスポーツ文化の振興に努めると共に、あわせて町民の融和を図ることを目的としている。

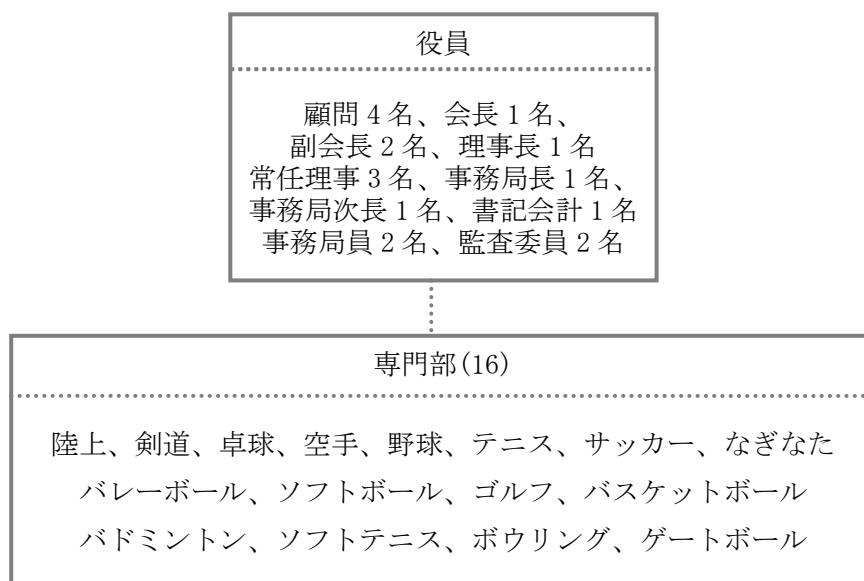
主な活動内容

- ・ 西原町陸上競技大会
- ・ 中頭郡陸上競技大会
- ・ 中頭郡駅伝競走大会
- ・ 西原町総合体育大会
- ・ 中頭郡総合体育大会
- ・ 西原町民バドミントン選手権大会
- ・ 西原町ゴルフ祭り
- ・ 西原町なぎなた大会 など

自慢できる活動

西原町陸上競技大会

組織図



活動の様子



中頭郡総合体育大会（夏季大会）



中頭郡総合体育大会（夏季大会）



西原町陸上競技大会
（町内最大スポーツの祭典）



西原町陸上競技大会
（町内最大スポーツの祭典）



中頭郡陸上競技大会
（西原町代表選手が9種目の大会記録を保持）



中頭郡駅伝競走大会

西原町子ども会育成連絡協議会

発足の経緯

昭和56年2月7日、11単位の子ども会を以って「町子連」は創立した。
昭和54年度から町教育委員会の子ども会普及事業により、わんぱく、
ピース子ども会が最初に誕生し、以後各字に順次、子ども会が結成された。

目的

西原町における子ども会活動を普及促進することにより、子ども会の健全育成に寄与することを目的としている。

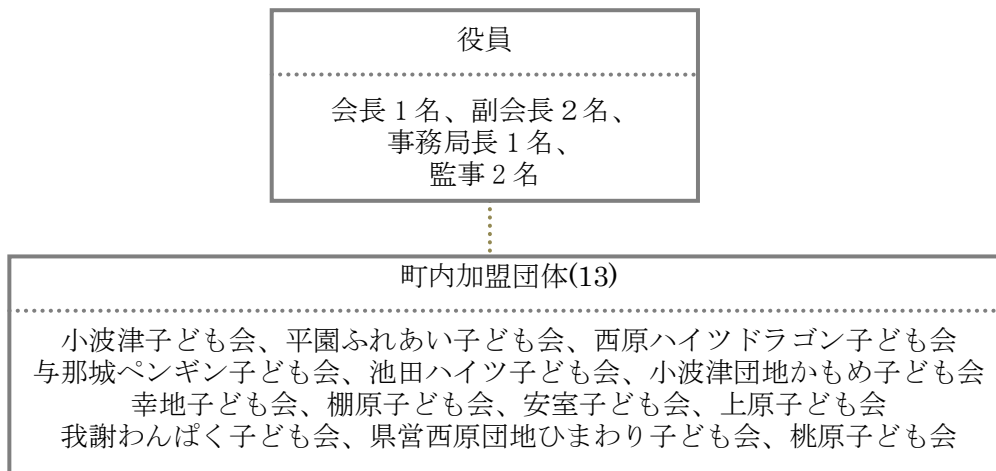
主な活動内容

- ・子ども会の指導者を養成する。
- ・子ども会リーダーを養成する。
- ・子ども会及びその他指導者との相互連絡をする。
- ・子ども会活動及び普及に関する調査、広報宣伝を行う。

自慢できる活動

少年少女リーダー研修「がんじゅう学び舎」では、ジュニアリーダーとインリーダーによる「アウトドアクッキング」「イニシアティブゲーム」、「クラフト講習」「星空観察」等、「子どもの手による子ども会」のために、異年齢集団の生活を共にした実践活動を通して、自主性や連帯性を養い、創造性豊かな子に育つように活動を行っている。

組織図



活動の様子



KYT 研修会（危険予知トレーニング）



イニシアティブゲーム



がんじゅう学び舎 参加者集合写真



がんじゅう学び舎
キャンプファイヤー



がんじゅう学び舎 カレー作り



クラフト（凧作り）

西原町青年協議会

発足の経緯

「さわふじ青年エイサーまつり」開催をきっかけに集まった複数の青年会を基本に町内の青年会（団体）に呼びかけて平成 19 年に発足した。

目的

各青年会相互の情報交換と会員同士の親睦を深め、青年会活動の振興・発展を図り、地域づくりと西原町の発展に寄与する。

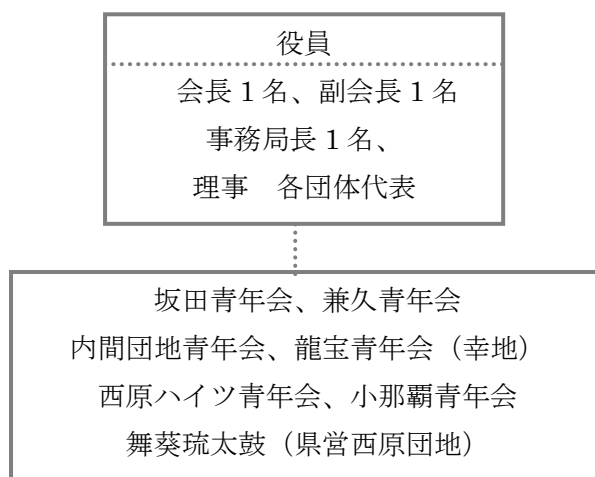
主な活動内容

- ・ さわふじ青年エイサーまつり
- ・ 西原町青年祭
(平成 24 年度より町商工会青年部と合同祭)

自慢できる活動

- ・ 今年で 12 回目を迎える「さわふじ青年エイサーまつり」
- ・ それぞれの地域での自治会への協力（清掃、行事への参加など）

組織図



活動の様子



舞葵琉太鼓



内間団地青年会



坂田青年会



龍宝青年会



兼久青年会



小那覇青年会

ニシバル歴史の会

発足の経緯

平成 22 年度 西原町教育委員会において、名実ともに「文教のまち西原」を目指すという精神のもと教育施策 5 項目が挙げられたが、その 4 項目目に“町内文化財の理解と整備への取り組み”があり、その中で西原町の歴史・文化・公共施設・民話等の案内をするガイドの養成と活用を図る施策が盛り込まれた。その流れで教育委員会主催による『西原文教のまちガイド養成講座』が行われ、講座終了後、西原町の案内ガイドとして活動することを前提に、『ニシバル歴史の会』は発足した。

目的

本会は、町内にある文化財や歴史・文化・自然などを、訪ねる人達に分かりやすく安全に案内・説明するとともに会員相互の資質の向上、親睦を図ることを目的としている。

主な活動内容

- ・『歴史の道を歩く一』事業（町教育委員会主催）
- ・町内地域散策事業（町教育委員会主催）
- ・歴史講演会開催（会主催）
- ・町内文化財案内（ガイド依頼）
- ・町内戦跡めぐり（会主催）

自慢できる活動

町内に眠っている史跡・文化財を西原を訪れる人たちだけではなく、地域の人たちにも伝え広めていく活動。

組織図

役員
会長 1 名、副会長 1 名
会計 1 名、監事 1 名
書記 1 名（西原町教育委員会生涯学習課）
事務 1 名（西原町教育委員会生涯学習課）

活動の様子
(町内戦跡巡り)



西原の塔 広場にて



字小波津陣地壕跡にて



西原村旧役場壕跡 広場にて



字小波津の慰霊塔 広場にて



旧役場壕をあとに次の幸地の陣地壕へ



字小波津 民家に残る弾痕の壁

読みあいネットワーク喜楽星7

発足の経緯

町内の6校にある読み聞かせサークル及び委員会の情報交流、読み聞かせスキルアップ学習会を図るため、準備委員会を立ち上げ結成総会を経て発足。町内の6校プラス、平成16年度子ども居場所教室で立ち上がった。

語り塾を加えて7、みんなで楽しく喜んで1人ひとりが一番星であるという意を込めて、読みあいネットワーク喜楽星7とした。

目的

西原町町立小・中学校の児童生徒に対する本の読み聞かせボランティア活動と併せて、会員の資質向上と相互親睦、交流を図ることを目的とする。

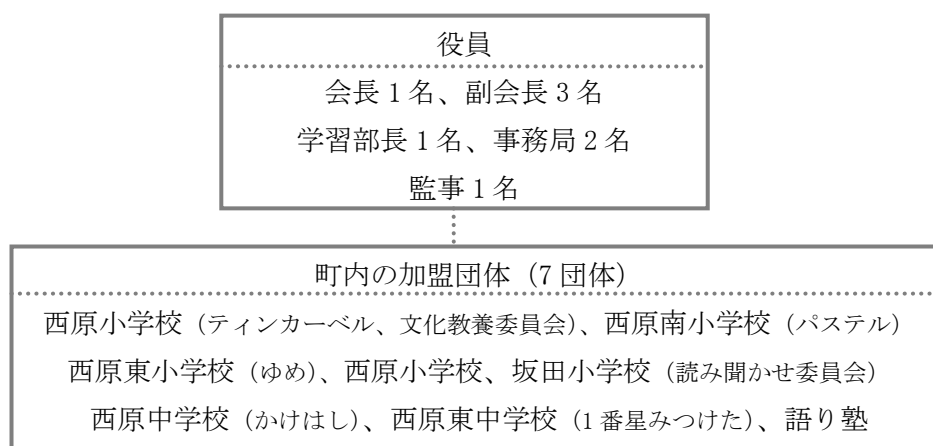
主な活動内容

- ・児童生徒に対する本の読み聞かせ活動
- ・児童生徒及び保護者に対する読書広報活動
- ・会員の資質向上のための学習会及び親睦のための活動

自慢できる活動

- ・年2回（夏7月と秋10月）に開催する。「語り庭あつと一め一のささやき」は、夜の読み聞かせ会で町立図書館前庭にて行う。初回より町立図書館の後援で実施。
- ・毎年、11月3日（文化の日）に「ブックフェスタ喜楽星のたまたま箱」を開催している。内容は児童書、絵本のフリーマーケット、町子連、町P連共催の体験クラフトコーナー、町内の各校読み聞かせサークルやその他組織の実演がある。
- ・様々な施設から依頼があり、ボランティアがチームをつくり、読み聞かせを行っている。

組織図



活動の様子



かたなこ
語り庭あつとーめーのささやき



かたなこ
語り庭あつとーめーのささやき



かたなこ
語り庭あつとーめーのささやき



かたなこ
語り庭あつとーめーのささやき



読み聞かせコーナー
「ブックフェスタ喜楽星のたまたま箱」



クラフトコーナー
「ブックフェスタ喜楽星のたまたま箱」